

令和8年度当初予算

「市民とともに育む
未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴」

未来への戦略的な集中投資
期間として過去最大規模の
予算を計上

令和8年度の一般会計予算額は
420億3,967万円とな
り、市制施行以来、過去最大規
模の予算となりました。

人口減少や少子高齢化などの
課題をネガティブに受け止め
ず、固定概念や前例を打ち破り、
市民一人ひとりが豊かさや幸せ
を実感できる都市モデルへの
「変革の好機」と捉え、さまざま
な事業を編成しました。なお、

主な重点事業の中には、迅速か
つ切れ目なく事業を行うため、
令和7年度3月補正予算と一体
的に取り組むものも含まれてい
ます。詳しくは、市ホームページ
からアクセス可。



歳入 歳出



予備費 1,000万円
その他 14億866万円

- 農林水産業費 8億9,532万円
- 議会費 3億1,491万円
- 総務費 63億4,484万円
- 衛生費 38億7,433万円
- 民生費 149億5,706万円
- 公債費 36億4,577万円
- 労働費 7,161万円
- 商工費 9億3,615万円
- 教育費 55億2,863万円
- 土木費 39億2,896万円
- 消防費 15億3,209万円

- 地方消費税交付金 23億3,660万円
- 地方交付税 72億7,800万円
- 市税 115億2,950万円
- 国庫支出金 75億6,714万円
- 府支出金 38億6,094万円
- 市債 26億730万円
- 使用料及び手数料 6億5,723万円
- 寄附金 5億1,246万円
- 繰入金 30億4,995万円
- 諸収入 12億3,189万円

歳出のポイント

子育て・教育・福祉環境の充実による人への投資や市民の豊かな暮らしを支えるインフラの整備、デジタル技術の活用、地域経済の活性化に向けたさまざまな取り組みなど、未来への戦略的な集中投資を行います。

歳入のポイント

行財政改革により積み上げてきた基金を有効に活用します。また、ふるさと応援寄附金の受け入れ拡大やネーミングライツの活用など、稼ぐ力の強化に取り組み、未来に負担をかけない持続可能な財政基盤を堅持します。

特別会計・公営企業会計予算

特定の事業を行う場合に、使用料などの収益でその事業の経費を賄い、一般会計とは区別して収入・支出を処理する会計です。

公営企業会計	事業	金額
	水道	32億3,370万円
	下水道	68億330万円
	病院	13億9,641万円

特別会計

国民健康保険	65億5,102万円
介護保険	89億9,985万円
後期高齢者医療	17億7,390万円
貯木	300万円
駐車場	4,400万円

3つの重点施策に取り組みます

子ども達の「やりたい思い」を実現

すべての子ども達が、自分らしく輝き、夢に挑戦できる環境を整えます。地域全体で成長を支え、笑顔があふれる未来をつくりま

「新しい地方都市」への挑戦

急速に進む人口減少などの課題に対し、まちのポテンシャルを最大限に引き出し、地域コミュニティの構築など、次なる時代へ飛躍するための新たな価値を生み出す「新しい都市モデル」を創造します。

「未来への約束」をカタチに

市民の皆さんとの対話で紡いだ思いを礎に、誰一人取り残すことなく安心して暮らせる社会を目指します。
また、温かな絆を育み、安全・安心を未来へつなぎます。